令和８年９月

冠動脈造影検査を受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究のために過去の記録が用いられることについて患者さんもしくは患者さんのご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、［お問い合わせ］までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

また、この研究については、KKR 高松病院治験審査委員会の審議にもとづき病院長の許可を得ています。

［研究課題名］ 当院 FFRangio の有用性の検討

［研究機関］ ＫＫＲ高松病院 （病院長：森 由弘）

［研究責任者］ 臨床工学科 佐伯 祐作

［研究の目的］ 冠動脈内に専用のワイヤーをいれて測定する必要がある従来の FFR（冠血流予備量比）検査※と、造影画像データから FFR 値を算出することができる FFRangio システムを利用した場合の検査を比較し、FFRangio システムの有用性を検討する。

※FFR 検査は、心臓の血管の狭窄部位でどのくらい血流量が低下しているか評価する検査です。冠動脈造影検査（CAG）中に行います。

［研究の方法］

●対象となる患者さん

- 2021 年４月～2025 年７月に FFR 検査を受けられた方
- 2025 年７月～2026 年３月に FFRangio システムで FFR 値を算出された方

●利用するカルテ情報（対象患者さんの下記の既存情報を利用します。）

① 患者さんの背景情報：性別、年齢、BMI（体重/身長^2）
② 冠動脈造影検査（CAG）に関する情報：検査時間、透視時間、入射線量
③ CAG 前の血液検査結果：
LDL（悪玉コレステロール）• TG（トリグリセリド）• EGFR（推算糸球体濾過量）、T-ｃｈ（血清総コレステロール）
④ FFRangio の結果：狭窄部最小内腔径
⑤ 経皮的冠動脈形成術（PCI）の情報：狭窄部最小内腔径

［研究期間］

病院長の許可日～2026 年 12 月 01 日（利用を開始する日：2026 年９月 24 日予定）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究に関する試料・情報は研究責任者により適切に管理・保管されます。

[問い合わせ先]

高松市天神前４番１８号
ＫＫＲ高松病院　臨床工学科　　担当　佐伯 祐作
電話　087-861－3261㈹　　FAX　087-834－0199